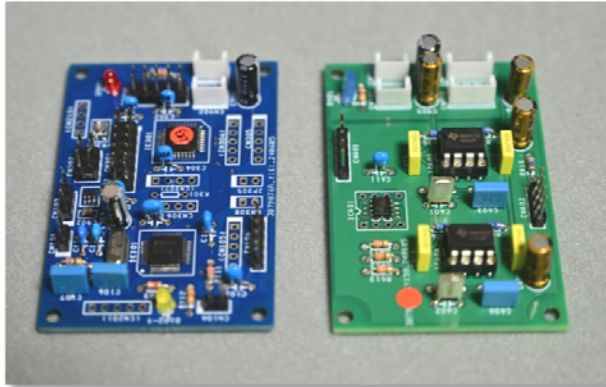


PC で Over Sampling



DIX9211 + PT8211 DAC基板セット

この度は、DIX9211 + PT8211 DAC 基板セットをお買い上げ頂きありがとうございました。
組み立て前に本説明書をご一読いただきますようお願い致します。



※ ケーブルやソケット,LED等の色が写真と異なる場合があります。
改良によって、レイアウトなどが変更になる場合があります。
※ DAI基板、DAC基板 単品の場合もあります。

< DIX9211 + PT8211 DAC 基板セットの 特徴 >

DIX9211 DAI 基板と PT8211を搭載の DAC基板です。
DIX9211は、44.1KHz～192KHzまで適応しますので PC側でのオーバーサンプリング的な動作が可能です。

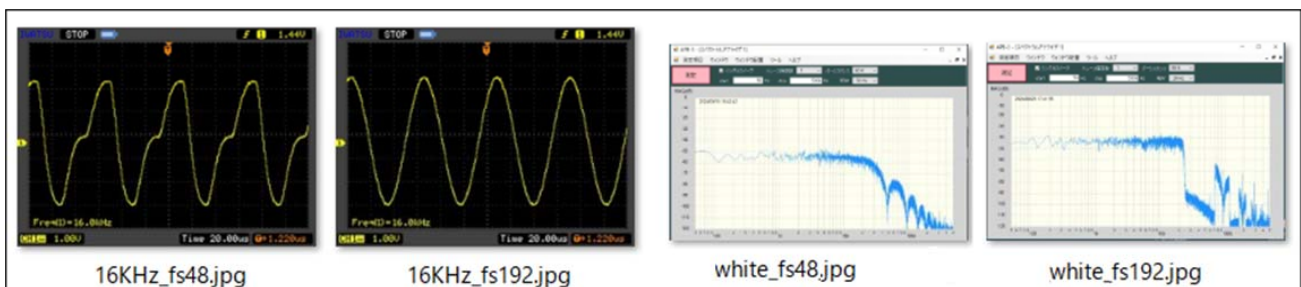
◆ DIX9211 DAI 部

- ・ TI製 DIX9211 を使用し制御用に ATTINY88を使用しています。
- ・ 入力は、同軸 1入力および 光端子 1入力です。
- ・ 適応する SPDIF入力は、44.1KHz～192KHz です。
- ・ デジタル出力は、Right Justified-16/デフォルト で I2S 及び Left justified に対応可能です。
- ・ 基板サイズ : 47 x 72 mm (system72)
- ・ 電源 : 5V

◆ PT8211 DAC部

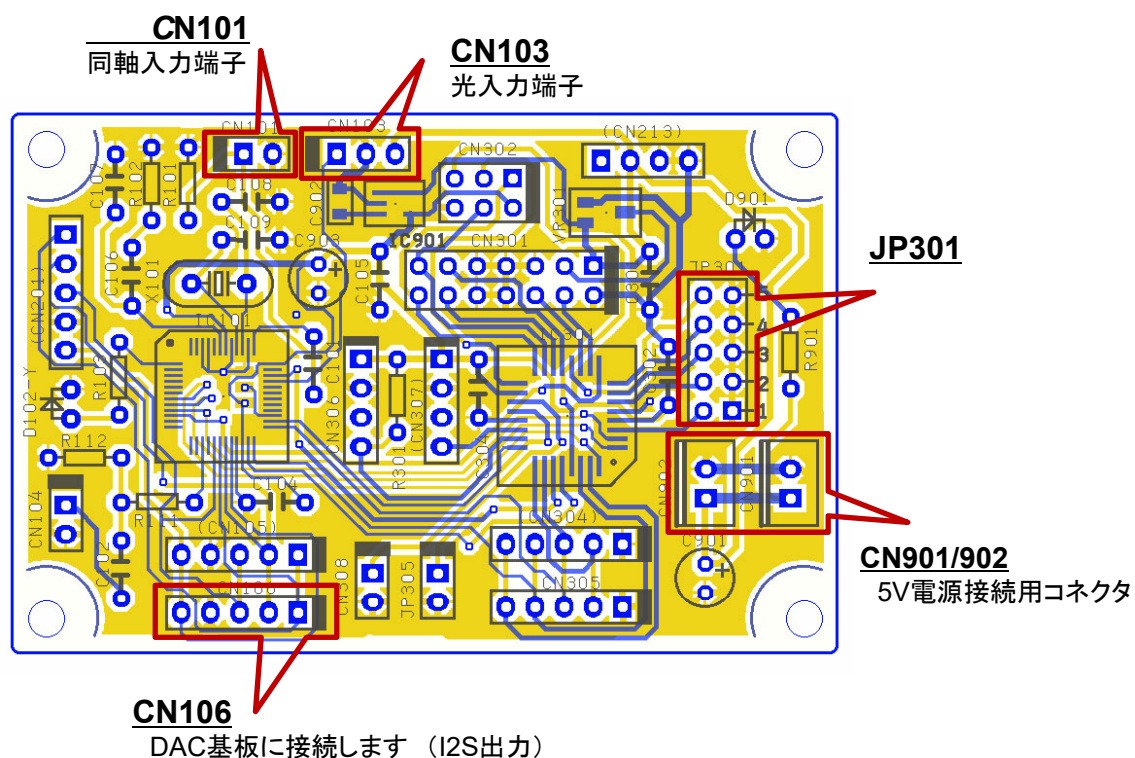
- ・ 16bit R2Rタイプの DAC IC PT8211を搭載してます。
- ・ LPFオペアンプは uPC4570/NE5532 等 出品時に指定のもの。
- ・ 出力電圧 : 約 2 Vrms
- ・ 基板サイズ : 47 x 72 mm (system72)
- ・ 電源 : 5V 、±15V (又は±12V)

PCの SPDIFクロック を変えて出力した場合の波形変化の例



詳細は、https://www.mi-take.biz/system72/DAC2024/DIX9211/overClock_PT8211.html を参照

DIX9211 DAI基板 部品配置図



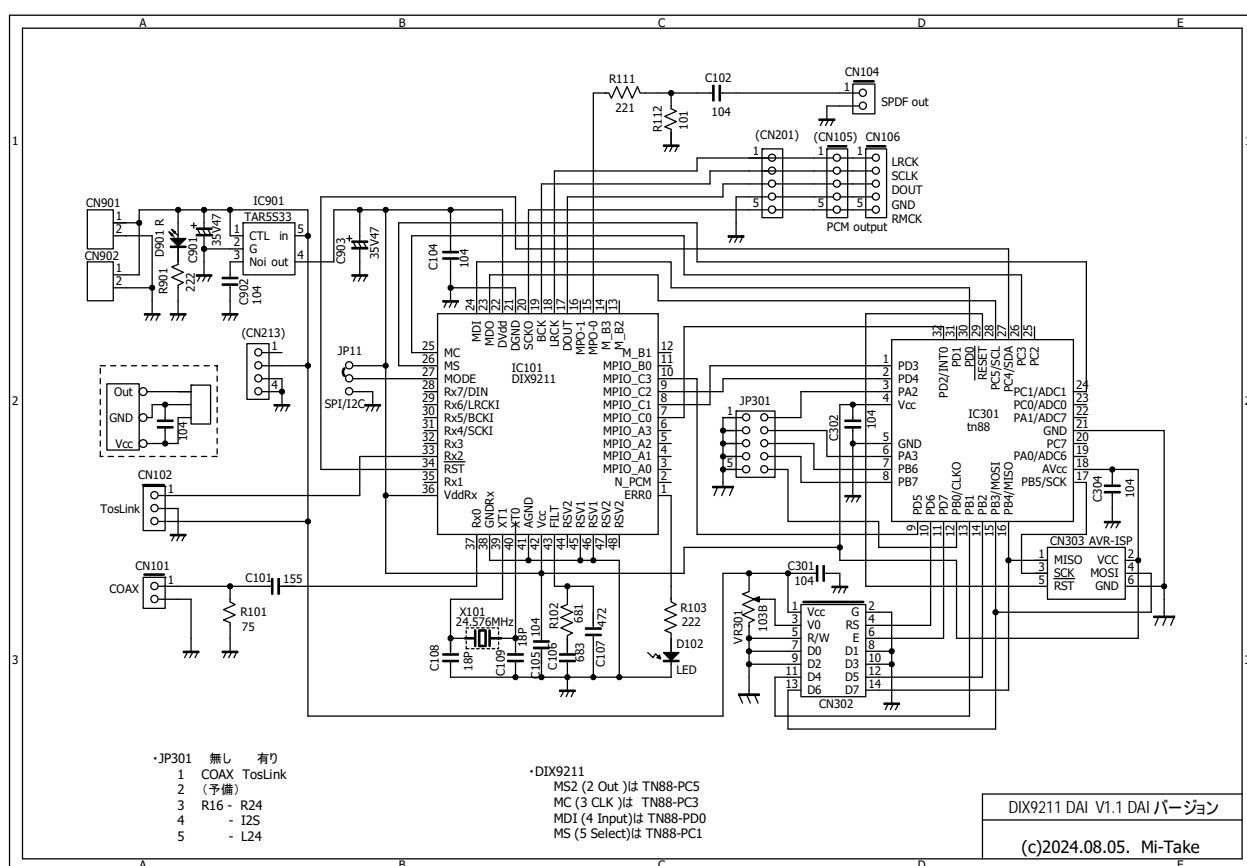
接続と動作

- ・ CN901は、5V電源に接続します。 CN901/902は並列接続となっています
- ・ CN101 は同軸入力端子です
- ・ CN103 は光端子入力端子です
- ・ CN106 はDAC接続用出力端子です。 DAC基板と接続します
- ・ CN301には、SC1602BS 相当のLCDが接続できます。 無くて動作には影響ありません
- ・ JP301 は、SPDIF入力の切り替え、及び I2Sモード切替 のジャンパー用です
デフォルトは **ジャンパー無し** です。 下図の様になります

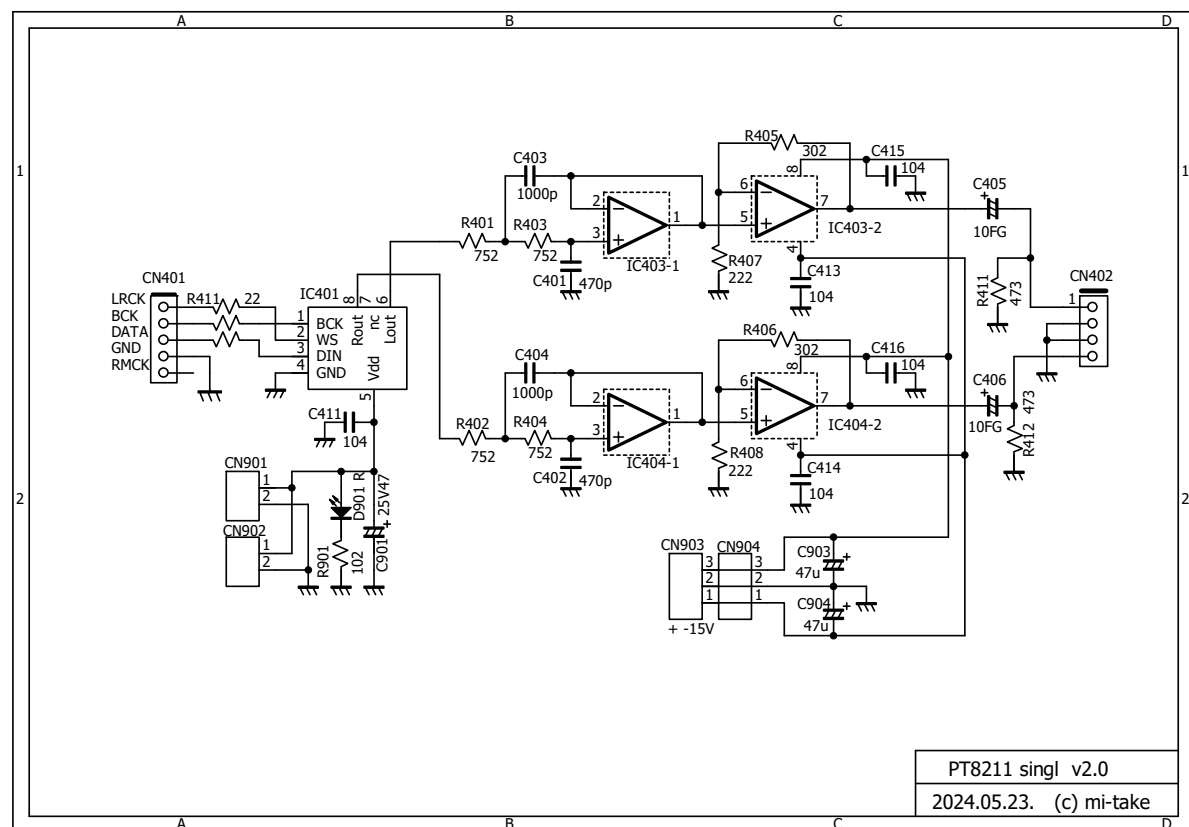
JP301-	ジャンパーの有無		備考
	無し	有り	
1	同軸入力	光端子入力	
2	(予備)		
3	Right 16ビット	Right 24ビット	どこか 1か所 のみ
4		I2S 24ビット	
5		Left 24ビット	

デフォルト側

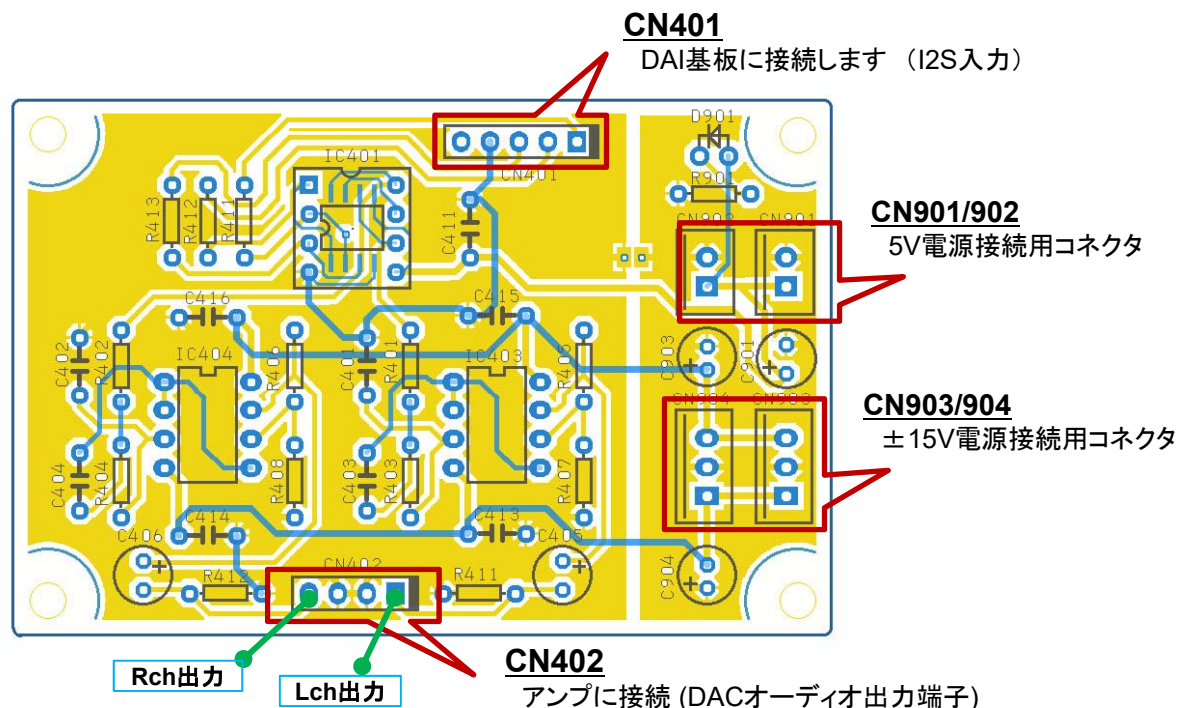
DAI基板 参考回路図



DAC 基板 参考回路図



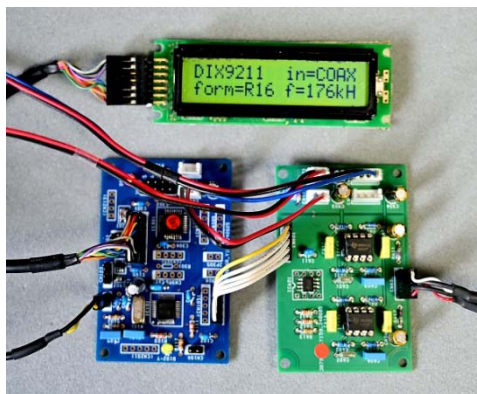
PT8211 DAC基板 部品配置図



接続と動作

- ・ CN901 は、5V電源に接続します。
CN901/902 は並列接続となっています
- ・ CN903 は、±15V電源(±12V)に接続します。
CN903/4 は並列接続となっています
- ・ CN401 はDAI接続用入力端子です。
DAI基板と接続します
- ・ CN402 はDACオーディオ出力端子です。
アンプにつながます

基板の接続・動作例



※ 接続例では、LCDが接続されていますが無くては動作には影響ありません。

使用上のご注意・制約事項など

- ・ 半田ジャンパー設定はデフォルトでの使用がおすすめです。設定を切り替えてのご質問にはお答えできかねます。

履歴

Rev.1.0 : 2024.09.18. 1st release
Rev.1.1 : 2025.07.07. 改訂 (基板単品追記)

【免責事項】

本キット及び説明書は、万全を期して作成されておりますが、万が一、本キットを製作・運用した上で何らかの障害が発生しても当方ではその責を一切負いませんのでご了承下さい。利用者の自己責任においてご利用をお願いいたします。

- ・使用するケーブルやソケット等の色が写真と異なる場合があります。
 - ・性能改善のため予告無く仕様変更になる場合があります。
- 最新情報・関連技術情報を下記 Mi-Take のホームページで提供しています。

<http://www.mi-take.biz>